



# 帯広畜産大学

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

かけがえのない命を  
次世代につないでいくために



死後の貢献 -病理解剖- について

動物医療センター診断検査科

本冊子をお手に取っていただきありがとうございます。

この冊子は、病理解剖についてご案内するためのものです。

解剖というと怖いイメージでしょうか？あまり関わりあいたくないと思われるかもしれません。

ましてや、かわいがっている動物たちを解剖させてください、というお願いは、ひどいお願いに聞こえる事と思います。

しかし、病理解剖は、獣医療の向上に欠かせない重要な行為であると同時に、学生教育においても重視されている行為です。

検査にあたる教員（獣医師）と学生は、みな真摯にご遺体に向き合い、その尊い命からたくさんの事を学ばせていただいています。

病理解剖について知っていただき、また、可能な範囲でご協力いただければ幸いです。



診断検査科教職員一同

## 病理解剖へのご協力のお願い

帯広畜産大学では、学生教育に用いるため、お亡くなりになってしまった犬・猫の病理解剖へのご協力をお願いしています。病理解剖と言われても、明るいイメージはないと思いますし、具体的に何をするのかはご存じないかもしれません。しかし、獣医療においても、また、獣医師養成課程においても病理解剖は重視されている行為で、一定数の病理解剖経験が国際水準の獣医学教育の中では求められています。

残念ながら日本で病理解剖に供される犬猫の数は諸外国に比べると著しく少ないため、学生に経験させる数は十分ではありません。帯広畜産大学では、国際標準の獣医師を養成するため、病理解剖へのご協力をお願いしています。

## 病理解剖の目的

病理解剖では、体の中の主要な臓器や組織を検査することで、病気の原因を調べます。病理検査によって、獣医師は診療の振り返りが可能となり、よりよい獣医療を提供するための“勉強”を行う事ができるのです。

また、病理解剖で明らかにされた知見は、同じような病気で苦しんでいる動物たちの診断や治療のために、とても貴重な情報となります。

加えて、学生は病理解剖を経験することで、実際の病気はどのようなものであるかを理解し、学びます。

## 具体的には

通常はお腹と胸の中を調べますが、病気の種類によって頭部（脳）なども調べさせていただく場合もあります。頭部を検査した場合でも、外見が損なわれないよう施術いたします。病理解剖のすべての行程は、ご遺体に対する尊厳のもと、礼意を失することなく執行します。

## その後の検査

病理解剖後、臓器や組織を顕微鏡観察によって検査します。検査によって、主要な病気、臓器・組織の病変や治療効果などとの関係を明らかにします。

検査を終えた後の臓器・組織は、一定期間保管した後、茶毘に付されますが、スライドガラス標本は半永久的に保存されます。

検査は3か月程度で終了し、担当医に結果が通知されます。最終結果についての説明をご希望の場合は、担当医を通じて知ることができます。



## 検査後のご遺体について

病理解剖後のご遺体については、

- ① 縫合・清拭後にご遺体をお返し
  - ② 学内にて火葬後にご遺灰をお返し
  - ③ 火葬後、学内慰霊施設に納骨する
- という、いずれかの対応を、ご希望に応じていたしております。

## 獣医学・獣医療への貢献

治療中の診断と病理診断が一致しないことや、死因が病理解剖で初めて明らかにされることは、現在でも少なくありません。このような不一致を少なくする努力こそが、これまでの獣医学を進歩させる大きな原動力でした。

また、病理解剖を通じた実習や検討会は、学生だけでなく、動物病院の獣医師の教育にも貢献しています。病理検査結果が、学会や学術誌で報告され、より多くの獣医療関係者の参考となる場合があります（それらの際は、匿名化により個人情報保護されます）。

以上のように病理解剖は獣医療・獣医学の発展に貢献します。病理解剖とは、ある意味亡くなられたご家族がないうる社会への最後の貢献です。ご理解、ご協力いただけますようお願いいたします。

## ご協力いただける場合

病理解剖は獣医師からの紹介によって受け付けています。ご協力いただける場合は、主治医の先生までお伝えください。

そのほか、ご遺体の寄付（献体）という形でのご協力もお願いしています。献体の場合も病理解剖と同様の検査を行いますが、学生実習に供する都合上、検査結果についてはお知らせできません。ご遺体は学内施設にて火葬した後、学内慰霊施設に納骨いたします（返却には対応いたしかねます）。献体へのご協力については、裏表紙記載「献体に関して」をご参照ください。

## 大学での慰霊

大学では年に一度、教育に貢献してくれた伴侶動物たちに感謝し、慰霊を行う慰霊式を開催しています。慰霊式では、ご遺族様をお招きし、教職員・学生と共に慰霊を行っています。



貴重な貢献をいただいた動物の慰霊のために、納骨設備を備えた慰霊施設を学内に整備しています。慰霊施設は積雪期以外は通年開放されており、いつでもお越しいただく事が出来ます。

病理解剖について詳しくは、



<http://www.obihiro.ac.jp/~vet-pathol/necropsy/>

病理解剖についてのお問い合わせ  
裏表紙記載の連絡先まで。



病理解剖は死を通じて病を理解するためのひとすじの光です

病は臓器、組織、細胞の形を変え、その成り立ちを私たちに示します

私たちは病理検査によってその変化を探求し、病の本質を追求します

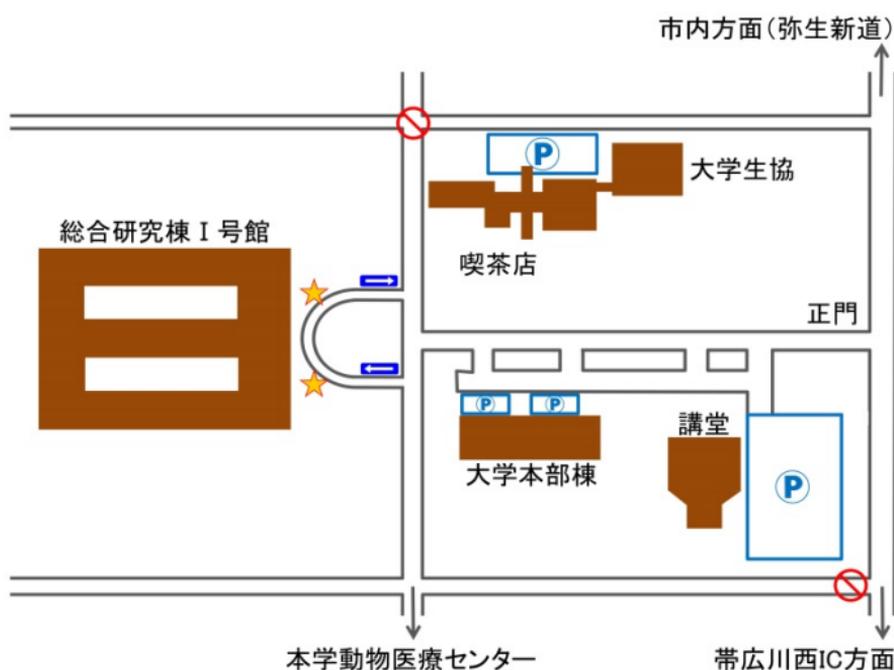
そして新たな治療方法、より適切な診断方法を探ります

一つ一つの病理解剖、それ単独では病の成り立ちを明らかにできるものではありませんが、検査を積み重ねることで獣医学、獣医療は進歩してきました

かけがえのない命を次世代につないでいくため、病理解剖へのご理解をいただければ幸いです

## 献体に関して

献体にご協力いただける場合は、大学までご遺体をご持参ください。受領は帯広畜産大学の総合研究棟Ⅰ号館で行います。担当者がお迎えに上がるため、事前にご連絡いただけますようお願いいたします。



お車でお越しの際は、上図の駐車場④に駐車いただけるほか、総合研究棟Ⅰ号館前の星印の箇所には一時的に停車いただく事が出来ます。

電話での受付時間： 平日9時から17時

電話番号： 080-1895-5614

Eメール： obihiro8555pathol  
@docomo.ne.jp

メールでのお問い合わせは随時